

20240605

高齢社会対策大綱の策定のための検討会（第6回）

読売新聞東京本社編集委員 猪熊律子

**豊かな<老いの泉> (The fountain of age) あふれる国****VS “長生きリスク” “老後不安” “年金不信” の国**

- 1 「社会保障制度審議会」的なものの“復活”に向けた検討  
首相の諮問機関。中長期的視点から社会保障制度について議論。2001年の中央省庁再編に伴い廃止  
**「人手」と「お金（財源）」をどうするか！**  
減る若手人材、ニーズが増す医療・介護人材……→外国人労働力でカバー？  
財源は？（身寄りのない高齢者への支援の財源は？）  
与野党政治家＋有識者、関係各省、関係団体
- 2 定年・退職のあり方  
定年制を定める場合は60歳のままでよいか（高年齢者雇用安定法：定年年齢は60歳を下回ることができない）  
退職税制のあり方  
公的年金や私的年金受給の際の知識（税・社会保険料の支払い方等も含め）
- 3 高齢者増は犯罪被害者増だけでなく犯罪加害者増も意味する  
人生最後の時期に罪を犯させない社会づくり  
司法外交で貢献の可能性
- 4 身寄りのない高齢者（おひとりさま）への早急な施策の対応。成年後見制度の保佐・補助の活用は
- 5 社会保障教育の充実  
土台を担う公的社会保障制度。その理解を深める  
cf. 「今年もまた繰り返すの？ 財政検証後の年金叩き」（東洋経済オンライン、<https://toyokeizai.net/articles/-/757380>）